

(別紙5)

補助事業番号 2019P-130
補助事業名 2019年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 NPO法人全国ことばを育む会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ことばに特別なニーズをもつ子どもたちとその家族に対して、地域社会での自立と社会参加を生涯にわたって支援するとともに、全国各地の親の会及び関係諸団体や有志との緊密な協働のもとに、ノーマライゼーション社会の実現に寄与することを目的としている。

(2) 実施内容

① インクルーシブ教育や合理的配慮の理解を進める為の研修

平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行され、教育現場においてインクルーシブ教育や合理的配慮の整備が求められる状況にある。2019年度については、徳島県と東京都岡県で実施した。保護者、関係者にとって、先進地域の情報や、障害者本人が必要としている合理的配慮について学ぶ場となった。



熱心に研修中（徳島）



実技もありました（東京）

② 発達障害のある子ども、青年、親、関係者を対象としたキャンプ事業

日頃、コミュニケーションのとりにくさを感じている子どもや青年たちが、ボランティアの支援を受けながら、寝食を共にし、活動することで、友達を見つけ、自己肯定感を高めていくいい機会となった。また、保護者も我が子の育てにくさなど共通の悩みや不安を語り合うことができ、孤独感を払拭し、子どもへのよりよい接し方や、将来のことなど、講師や先輩の親から学ぶことができた。



熱心に研修中（茨城）



レクリエーション（島根）

③ 幅広い年代の子どもたちを対象とした無料相談

我が子のコミュニケーションについて、様々な不安や悩みを抱える親が少子化にも関わらず増えている。職場の多忙化、貧困家庭の増加など、社会状況の変化により、会話を楽しむ機会が減ってきていること、食生活の変化など、要因は様々考えられるが、身近な地域での相談事業の実施により、具体的な手立てがわかったことで子どもの支援につながり、また、ことばの教室の設置のニーズが高いことも実証され、地域の親の会の活動に勢いがついた。JKAの補助をいただいたおかげと感謝の声が届いている。



個別に丁寧に相談（秋田）



相談風景（高知）

2 予想される事業実施効果

コミュニケーションに不安や悩みを持つ親子は少子化に関わらず、全国各地とも増加傾向にあり、身近に相談のできる場として全国ことばを育む会各支部の役割は大きいものがある。

インクルーシブ教育や合理的配慮の理解を進める為の研修で学んだ参加者達が地域にもどり、参加できなかった仲間と改めて学び直したり、ブロック研修会の場で報告をしたり、理解啓発の力となった。他地域での開催を願う声も多い。

同じ障がいのある子ども、親、関係者のキャンプは、子ども達にとっては、自己肯定

(別紙5)

感を得られたり、気を許しあえる仲間とふれあえて、友人が増えたり、また、親にとっても、忌憚なく話ができたり、相談できたりする仲間との交流ができた。親子ともに、この先の人生にかけがえのない仲間作りの場となった。

無料教育相談では、発音の改善・吃音児やその家族の支え・難聴児のきこへの補償等についての具体的なアドバイスを専門家が行った。高知では、病院と距離があり、診察を受けにくいために、今回は専門家の医師の相談も実施された。

不安な思いで相談にみえた親子が、身近な地域で相談が受けられる幸せを感じられたと感想をいただいている。

各事業の実施により、「障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る」ことに、小さなあゆみだが寄与できたと考える。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当無し

(2) (1) 以外で本事業において作成したもの

『ことば』年4回発行 NO.294～NO.297 (各4,500部) (<http://b.zkotoba.jp/>)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： NPO法人全国ことばを育む会 (ゼンコクコトバヲハグクムカイ)

住 所： 〒170-0005

東京都豊島区南大塚3-4 3-1 1 全国福祉財団ビル7F

代 表 者： 理事長 吉岡 正 (ヨシオカ マサシ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 田嶋 恵美子 (タジマ エミコ)

電 話 番 号： 03-6459-0989

F A X： 03-6459-0989

E - m a i l： npo-hagukumukai5108@waltz.ocn.ne.jp

U R L： <http://b.zkotoba.jp/>